

イラン政府は先日、モハレベ（神に対する敵）罪でイラン人男性2人を処刑した。昨年6月の大統領選後のデモ関連で初の死刑である。だが2人の逮捕は、実は選挙の何週間も前だった。それでも2人は選挙後の弾圧で逮捕された数百人と共に、国営テレビのカメラの前に並べられた。その多くもデモに参加していなかった。

今回の処刑は、反体制派を「テロリスト」とみなし、厳罰に処するとのイラン政府の意思表示だ。今後も政治囚への死刑は続くだろう。新たに、少なくとも9人を処刑になると発表されている。

## View Point



# 日本はイランに意見すべき時

フアラーズ・サネイ

国際NGOヒューマン・ライツ・ウォッチの中東・北アフリカ局調査員

この処刑に日本政府は沈黙している。実際、大

日本政府は、水面下で

沈黙している。実際、大統領選後のイランでの大規模な人権弾圧に、日本はほぼ沈黙している。

イランでは反体制活動家やデモの参加者が大量に逮捕された。デモの際に街頭で死亡した者もいるし、刑務所で不審死している者もある。刑務所では拷問や性暴力が横行しているのだ。これに対し、

日本政府の声明は二つ。死傷者発生に「懸念」を表明し、一連の対立について「平和的な解決」を求めただけである。

日本とイランは主要な貿易相手国で長年の友好国。日本政府の対応も驚くにはあたらない。日本

イラン政府は先日、モ

ハレベ（神に対する敵）

罪でイラン人男性2人を

処刑した。昨年6月の大

統領選後のデモ関連で初

の死刑である。だが2人

の逮捕は、実は選挙の何

週間も前だった。それで

も2人は選挙後の弾圧で

逮捕された数百人と共

に、国営テレビのカメラ

の前に並べられた。その

多くもデモに参加してい

なかつた。

今回の処刑は、反体制

派を「テロリスト」とみ

なし、厳罰に処するとの

イラン政府の意思表示

だ。今後も政治囚への死

刑は続くだろう。新たに、

少なくとも9人を処刑に

すると発表されている。

日本政府は、水面下で主張していると言うだ

ろう。だが残念ながら、ス

パイ罪で起訴された日系

米国人ジャーナリストの

ロクサンナ・サベリ氏の釈

放以外、影響力を行使し

た例は見当たらない。

イランのような国には、多角的な外交戦略も必要だ。事を荒立てるのが大嫌いなつましい友人でも、相手に意見すべき時がある。日本は今こそ行動を取るべきだ。

イランの主要貿易相手国で大国たる日本には、独自の役割がある。イラン政府に、平和的なデモ参加者や反体制派への暴力をやめて、政治囚全員

は即時釈放するよう求め、デモ参加者や非政府組織(NGO)活動家の最

害や逮捕について透明で包括的な調査をするよう

意見すべきだ。そして、大規模な人権侵害の責任者

の訴追を求めるべきだ。

2の貿易相手国で、日本にどうしてイランはサウジアラビア、アラブ首長国連邦に次ぐ第3位の原油供給国だ。また、日本はイランに累計1000億円以上の開発援助を実施し

規範的な人権侵害の責任者

の訴追を求めるべきだ。